

I サービス提供のプロセス項目（サブカテゴリ1～3、5～6）

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	○非該当	
サブカテゴリ1の講評		
利用希望者・地域への情報発信に注力がなされている ホームページの公表、パンフレットの作成等により利用希望者・地域への情報発信に努めている。法人ホームページには各ホームについての写真や概要が掲載されており、アクセス等については動画をみられるよう工夫されている。フォトギャラリーや献立など生活の状況や様子がわかる内容となっており、更に入居までのプロセスを動画にしてアップしていくことを検討している。		
相談や情報共有を通して変化への対応と計画の進捗に努めている 新ホーム開設、利用者の生活等については、行政と相談しながら進めており、空き情報の提供など情報の共有に努めている。共同生活援助をめぐる環境は近年急速な変化を遂げており、所在市だけでなく近隣市との連携にも努め、法人の方針がぶれないよう展望や計画の進捗に努めている。市内事業者部会においても重要な役を担っており、交流や防災相互協力を進めている。		
相談支援事業所等関係機関と連携し、安心して体験・申し込みができるよう努めている 新型コロナウイルスの分類変更に伴い、感染状況を見ながら見学対応等を入居前の状態に戻している。ショートステイを利用しながら利用者・ホーム共に相互に理解を深め、ミスマッチのないようサービス開始前の準備を整えている。また相談支援事業所・自治体・法人が実施する日中活動と連携し、安心して利用の申し込みができるよう取り組んでいる。		

サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 7/7
評価項目1 サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、利用者の不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p>ルール等を理解してもらったうえで契約に進むよう配慮している 本入居開始にあたっては、ショートステイを経てから始められており、他の利用者との関係性、共同生活のルール等を理解してもらったうえで契約に進むよう配慮している。また契約時には重要事項説明書を用いて支援内容・設備・費用・苦情相談体制をはじめ、退居の事由・貴重品の管理・持ち物・通院・外出等ルールについて説明にあたっている。</p> <p>情報を精査し、面談をもとに入居のための環境づくりにあっている 自治体・相談支援事業所から提供された情報を精査し、面談をもとに入居のための環境づくりにあっている。収集した情報はアセスメント表に整理し、職員が情報を共有した状態で支援できるよう体制整備にあっている。家族の要望にも耳を傾け、利用者の意向と調整しながら個別支援計画等支援方針の決定に取り組んでいる。</p> <p>継続的に入居後の生活を観察し、慣れや特性などの把握に取り組んでいる 入居前からの情報を活かしつつ、継続的に入居後の生活を観察し、慣れや特性などの把握に取り組んでいる。会議等での検討、メールを活用した周知など情報共有と把握に注力しており、ホーム全体で共同生活にうまく調和できるよう支援にあっている。またサービス終了の事例は少ないものの、家庭・自治体・相談支援事業所と連携をとりながら進めている。</p>		

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	10/10
3	個別状況に応じた計画策定・記録		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当	
●あり ○なし	3. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当	
評価項目3 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
職員が意見を出し合いながら仮・本プランの策定にあたっている 相談支援事業所からの基本情報・面談結果・サービス利用計画をもとにアセスメントシートを作成し、ケース会議等での検討ののち、個別支援計画の策定がなされている。サービス管理責任者を中心に日中活動・訪問看護事業者等を含め職員が意見を出し合いながら総合的な分析をし本プランの完成に至っている。作成された個別支援計画書・アセスメントシートは職員間での申し送り・デジタルツールの活用等により確認し、共有を図っている。			
方針を共有しながら一体的支援の実施に取り組んでいる 個別支援計画は、ケース会議等職員・関係機関の意見を総合して策定がなされており、ホームの方針である「個性の尊重」をこころがけながら目標の設定がなされている。利用者もつ能力や特性を活かし、生活を楽しめることを方針としており、職員がそれぞれの利用者を理解して支援ができるよう取り組んでいる。法人内の日中活動支援事業所の利用者も多く、方針を共有しながら一体的支援の実施に取り組んでいる。			
デジタルツールが整備されており、情報のもれがないよう取り組んでいる 日々の活動は日誌におさめられており、連絡ノートによる引き継ぎにより留意の確認等がなされている。職員間、ホーム間、法人内で情報が共有できるようデジタルツールが整備されており、情報のもれがないよう取り組んでいる。また業務日報は利用者個別の生活状況や健康状態が掲載されており、利用者の健康・安全管理に役立てられている。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 利用者のプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者に関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、利用者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 個人の所有物や個人宛文書の取り扱い等、日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮した支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(利用者が「ノー」と言える機会を設けている)		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報の限定利用の説明と使用への同意がなされている 重要事項説明書にてサービス会議・他事業所との連絡調整・緊急時の医療機関受診等での使用、法令の遵守、利用者の同意に基づく情報提供を約しており、個人情報使用同意書にて同意を得ている。また個人情報保護規程が設置されており、研修等を通して職員への周知を図っている。契約書においては、守秘として退職後も含めた職員の漏洩防止に義務を負っていることを宣している。</p> <p>日常の中でも個人が尊重されるよう留意がなされている サービスの実施、安全衛生上の管理のほか利用者の居室等に入らず、プライバシーを尊重した支援の実施を重要事項説明書にて約している。文書の開封や保管・居室の施錠・他の利用者との関わりなど日常の中でも個人が尊重されるよう留意がなされている。可能な範囲で習慣や持ち物に配慮し、利用者の意向・特性を尊重し、共同生活でのルールを守りながら生活を楽しめるよう取り組んでいる。</p> <p>同性介助等利用者を尊重した支援をこころがけている それぞれのホームは同性による構成となっており、職員からの支援についても基本的に同性介助が実現している。利用者への促しについても無理強いすることなく、同意を得てから行うよう取り組んでいる。またホームには声かけなどの留意事項が設置されており、利用者を尊重した支援が心がけられていることが理解できる。虐待防止については、研修実施、新入職員への指導、個別面談、就労環境への配慮等により取り組んでいる。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	4/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇●)	
評価	標準項目		
○あり ●なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映している	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>安全管理を中心に標準化のためのマニュアルが設置されている</p> <p>防災・個人情報・衛生管理等のマニュアル、就業規則等諸規程、声かけ等留意事項の掲示など業務の標準化のためのツールが整備されている。利用者の支援に対しては利用者のこだわりや特性に開きがあるため、個別支援計画に伴う留意事項にまとめており、行動習慣・日々のルーティンを掘り下げた支援を実践することが心がけられている。</p> <p>現在発信している情報の一元化について方法・手段の変更を検討している</p> <p>法令・ガイドラインの改定に伴いマニュアル・規程の整備を進めているものの、アップデートが追いつくよう取り組んでいる。また利用者の状況・変化への対応に留意しており、現在「メール等にて職員に周知・蓄積」・「サービス実績の記録、会議の実施等により提供するサービス検証」がなされているが、情報を利用者個別に一元化していくシステムや作業および新入職員の業務理解への必要性を認識しており、方法・手段の検討をしている。</p> <p>チェックリストを準備しており、業務のもれがないよう仕組みが整備されている</p> <p>職員が衛生・健康維持についてチェックリストを準備しており、業務のもれがないよう仕組みが整備されている。また職員とは定期で個人面談を実施しており、わからないことや不安に思っていることを聴取し、対応に努めている。また各種研修の案内をしているものの、開催形態により参加できない職員がいるなど、今後リモート機器の使用についても指導と標準化を進める意向をもっている。</p>			

II サービスの実施項目(サブカテゴリー4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	23/23
1 評価項目1 個別の支援計画等に基づいて、自立した生活を送れるよう支援を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 個別の支援計画に基づいて支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりに合わせて、コミュニケーションのとり方を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 自立した生活を送るために、利用者一人ひとりが必要とする情報を、提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 周囲の人との関係づくりについての支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 関係機関と連携をとって、利用者一人ひとりに応じた支援を行っている		○非該当
評価項目1の講評			
<p>支援実施表での確認、定期でのモニタリングにて計画の検証がなされている</p> <p>利用者の特性、疾病、生活歴等の把握に努めており、利用者一人ひとりがおも個性や能力を十分に活かしていくことを主眼として個別支援計画策定にあっている。また支援実施表への記録を通して計画に沿った支援となっているかを確認し、定期でのモニタリングにより達成度の確認と目標の検証がなされている。医療的支援が必要な利用者には別途実施手順書が用意され、チェック表への記入と看護師の確認がなされている。</p> <p>観察と考察に注力し、職員間での共有をもって支援への反映に取り組んでいる</p> <p>意思を表明することが困難な利用者に対しても独自のコミュニケーション方法があると考え、利用者の特性に合わせたコミュニケーションとなるよう努めている。日々の生活や支援の中で非言語行動の観察と感情表出の考察に注力し、職員間での共有をもって支援への反映に取り組んでいる。利用者の深部について理解するためには数年にわたるケースもあり、蓄積されたノウハウ・意思疎通を図るための熱意が困難を可能としている。</p> <p>利用者同士が納得性・関係性を保ち、穏やかに過ごせるよう支援にあっている</p> <p>利用者はこだわり・嗜好・特性等を有しており、これら利用者の個性の尊重を主体として支援が築かれている。利用者間での話し合い・職員が間に入るなどの調整を行い、利用者各々が納得性・関係性を保てるよう支援に努めている。状況によっては他寮に異動するなど複数の事業所を運営するメリットを活かし、利用者が穏やかに・安心した生活が送れるよう支援に取り組んでいる。</p>			
2 評価項目2 利用者が主体性を持って日常生活を楽しく快適に過ごせるような取り組みを行っている			
		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. グループホームでの生活は、主体的な活動が尊重されている		○非該当
●あり ○なし	2. グループホーム内のきまりごとについては、利用者等の意向を反映させて作成・見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 休日の過ごし方や余暇の楽しみ方については、利用者の意向を反映し、情報提供や必要な支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	4. 室内は、採光、換気、清潔性等に配慮して、過ごしやすい環境となるようにしている		○非該当
●あり ○なし	5.【食事の提供を行っているグループホームのみ】 利用者の希望を反映し、食事時間が楽しいひとときになるよう工夫している		○非該当
評価項目2の講評			
<p>先ず利用者の安全を第一に考え、その上で利用者の主体性を尊重した活動を見守っている</p> <p>利用者の心身の安全・財産に危害や損害が与えられないかどうかを活動・生活の判断基準としており、先ず利用者の安全を第一に考え、その上で利用者の主体性を尊重した活動を見守っている。また利用者ができることは自分ですよう職員はサポートにまわり、自立と自律、その継続を図れるよう計画の策定・実行に取り組んでいる。</p> <p>個性の尊重と協調性の双方により共同および地域生活を送れるよう支援している</p> <p>入浴・排せつ・洗面などの調整が必要な場合は、利用者間での話し合いと職員のサポートにより皆で共同生活を営めるよう取り組んでいる。利用者一人ひとりの個性や意見を尊重しつつ、関係を良好に保てるように「職員が間に入る・寄り添う」ことがこころがけられており、地域住民とも共生できるよう配慮にあっている。</p> <p>家庭らしさを大切に食事は献立ブログにて発信されている</p> <p>食事は何より「家庭らしさ」を大切にしており、利用者から見える場所での調理・家庭を感じられる雰囲気により提供されている。利用者の好みと栄養を考慮しながら日々の献立が考えられており、誕生日のお祝いや、行事食などにより生活に彩りを添えている。また夕食の献立は毎日ホームページに掲載され、家族等にも利用者の食事状況を伝えている。</p>			

3 評価項目3 利用者の状況に応じて、生活上の支援を行っている			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の状況に応じて、身の回りのことについて必要な支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の状況に応じて、家事(調理、洗濯等)について必要な支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の状況に応じて、金銭の管理や使い方について支援を行っている		○非該当
評価項目3の講評			
<p>個々の能力を活かし、自分らしく自立した生活を送ることを方針としている</p> <p>洗濯・洗濯物干し、室内清掃・整理整頓、入浴・整容については、できる限り利用者自身で行い、「職員はサポートに回りながら」・「利用者個々の能力を最大限に活かした」・「状況に合わせて」、「自分らしく自立した」生活を送ることを方針としている。利用者個々に必要な支援と留意事項が示されており、職員間の共有をもって統一した支援がなされるよう努めている。</p> <p>自立を阻害することのないよう配慮し、金銭使用の支援にあたっている</p> <p>個別の金銭管理については実施しておらず、貯金やお金の使い方についての指導にあたっている。インターネットショッピング等にてサポートにもあっており、適切な使用となるよう努めている。家族・後見人等と連携する一方、「過度な支援とならないよう・自立を阻害することのないよう」配慮した支援が心がけられている。</p>			
4 評価項目4 利用者が健康を維持できるよう支援を行っている			評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の健康状態に注意するとともに、利用者の相談に応じている		○非該当
●あり ○なし	2. 健康状態についての情報を、必要に応じて家族や医療機関等から得ている		○非該当
●あり ○なし	3. 通院、服薬、バランスの良い食事の摂取等についての助言や支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	4. 利用者の体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている		○非該当
●あり ○なし	5. 【利用者の薬を預ることのあるグループホームのみ】 服薬の誤りがないようチェック体制を整えている		○非該当
評価項目4の講評			
<p>一体的なサポート体制により医療依存の高い利用者への支援を可能としている</p> <p>利用者の多くは、法人内の訪問看護ステーションを活用し、バイタルチェック、精神的ケア等による健康管理がなされている。また訪問診療、通院同行をはじめとする受診、緊急時対応等のマニュアル設置など対応体制が整えられている。日中活動支援とも連携し、爪切り、洋服の整容、口腔ケアの実施にもあっており、法人として一体的なサポートを実施することにより医療依存の高い利用者への支援を可能としている。</p> <p>防止策の実施により服薬ミスの減少を実現している</p> <p>服薬ミスは利用者の生命にもかかわることことから最重要の支援の一つとして位置づけられており、防止策の実施によりその減少を実現している。法人内訪問看護ステーションの看護師による配薬と服薬チェック、医療機関使用の専用カートでの保管、レターオープナーを使用した落薬防止など法人としての包括的な体制整備により医療からの支援を必要とする利用者の受け入れを可能としている。</p> <p>提供された情報を精査し、健康維持・向上のための環境づくりに取り組んでいる</p> <p>入居時には、医療情報提供書・サマリーを入手し、医療機関・相談支援事業所から提供された情報を精査し、面談をもとに健康維持・向上のための環境づくりにあっている。収集した情報はアセスメント表に整理し、職員が情報を共有した状態で支援できるよう体制整備にあっている。疾病・生活習慣病等に対しても食事提供・運動・服薬等法人内日中活動支援事業所と連携し、総合的に健康が維持されるよう取り組んでいる。</p>			

5 評価項目5 利用者の意向を尊重しつつ、個別状況に応じて家族等と協力して利用者の支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 家族等との協力については、利用者本人の意向を尊重した対応をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 必要に応じて、利用者の日常の様子や施設の現況等を、家族等に知らせている	○非該当
●あり ○なし	3. 必要に応じて家族等から利用者・家族についての情報を得て、利用者への支援に活かしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>家族への聞き取りから利用者の意向を把握し、自分らしい生活を送れるよう支援している</p> <p>入居の際は、家族等から利用者の生活歴や状況等を聴取し、面談等行うことで利用者への理解が深まるよう努めている。利用者がこれまでの生活で大切にしていたことや今後の生活への意向把握に努め、それらをアセスメントシートにまとめ、都度確認できるようファイリングがなされている。個別支援計画への反映と実行、職員間で共通認識醸成を持って、ホームでの生活により早くなじみ、自分らしく過ごすことができるよう取り組んでいる。</p> <p>日常生活状況や変化を報告し、コミュニケーションを図っている</p> <p>利用者の生活状況や体調の変化については、物品購入の確認をする際などにあわせて家族・後見人に報告し、安心してもらえるよう努めている。新型コロナウイルスの影響下においては電話を中心にコミュニケーションを図り、ホームページでの活動報告・献立ブログ等の発信により充足している。また行政・相談支援事業所には都度報告し、情報を共有しながら連携した対応となるよう努めている。</p>		
6 評価項目6 利用者が地域社会の一員として生活するための支援を行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者が地域の情報を得られるよう支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者が地域の資源を利用し、多様な社会参加ができるよう支援を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>関係機関との連携・地域貢献への尽力がなされている</p> <p>行政、相談支援事業所など関係機関との連携に努め、関係性の構築に努めている。また管理職は、市内事業所連絡協議会においては要職を務めており、法人・事業所を超えて地域への貢献に尽力している。地域社会への貢献を法人のモットーとしており、地域から「支えられる」だけでなく、「支える」側として、施設を一時避難の場として提供したり、備蓄を提供したりすることを想定している。現在、非常時でも使用できる自動販売機を設置している。</p> <p>将来に向けて新たな事業展開を企図・考案している</p> <p>利用者が地域の中で自立した生活をしていけることを理想としており、将来的には擬似的に一人暮らしをしていける環境の構築を目指している。地域から受け入れられること・社会性をもって生活することを重視しており、地域移行の新たな形態を模索している。利用者が共に看取られ、望む場所で最期を迎えられる「終(つい)の住処(すみか)」「理想郷」を目指した目標どおり、更なる仕組みと体制づくりを企図・考案している。</p> <p>イベントへの参加等を通して近隣との顔の見える関係性の構築に努めている</p> <p>運動会・清掃活動等の地域イベントに参加し、近隣との顔の見える関係性の構築に努めている。利用者や職員の顔を知ってもらうことで安心して過ごすことができる環境を形成し、地域と共生できるよう働きかけがなされている。地域とあつれきをうまない・迷惑をかけないことをこころがけ、地域の公園に出掛けたり食事や買い物をするなど、利用者が地域と密着した生活の中で、日々喜びを感じられるよう取り組んでいる。</p>		